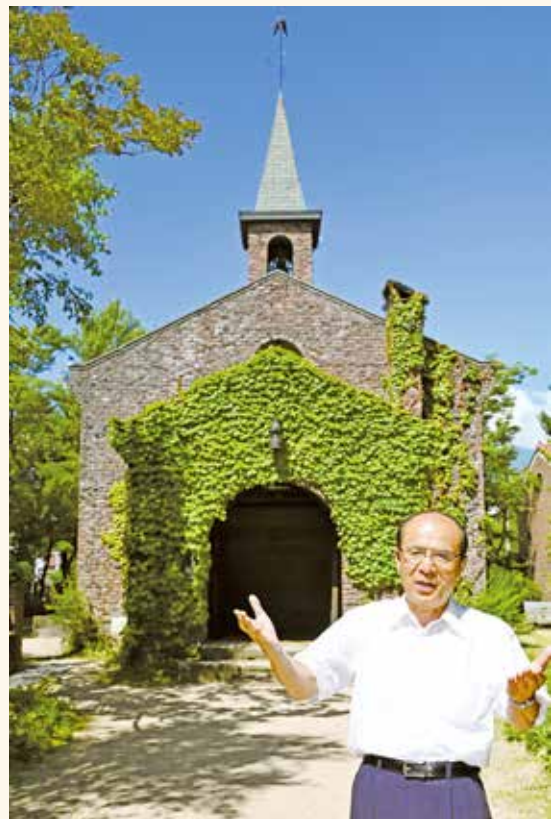




「碌山館は安曇野のランドマーク」と力説する平沢さん

多くの人に愛される 癒しの美術館でありたい

美術専門外でありながら「芸術の聖地」
碌山美術館第12代館長に就任

平沢 重人 さん

はつきり申し上げると碌山美術館の経営はとても厳しいです。昭和50年代から平成初期まで、来館者は年間20万人を超えていました。それが今では年間約2万7千人にまで減っています。これまでの館長は美術の専門家が多かったです。私は直近まで市文書館と

昭和33年の開館落成式で、東京国立博物館の浅野長武館長が「若し芸術の聖地という言葉があるとすれば、私は本日ここにこの言葉を惜しみなくささげたい気持ちで一杯であります」と碌山美術館を評しました。本年4月、その碌山美術館の第12代館長に就いた平沢重人さんに思いを聞きました。

専門外の私に託された使命

県内の小中学生ら約30万人の寄付によって開館した当館は、来年には延べ来館者数が700万人に達する見込みです。また、再来年の令和10年に開館70周年を迎えます。節目がめじろ押しで、地元の皆さんが美術館に親しむ絶好のタイミングであるとも言えます。近現代彫刻の国重要文化財6点のうち《女》と《北條虎吉像》は碌山の作品です。名実ともに「日本近代彫刻の父」である荻原碌山の重要性をもっと伝えたい。昨年度には、碌山館に加えてグズベリーハウスと美術の倉が国の登録有形文化財になりました。こうした彫刻作品や建造物が持つ素晴らしい価値をもっと発信していきます。

碌山館で名作を時間の許す限りゆっくりと鑑賞し、心身をリフレッシュする命の洗濯をしていただきたい。当館

コピー片手に命の洗濯を

白井吉見文学館の館長でしたが、元々は理科の教員。専門外の私に託された使命は何か。市民をはじめ多くの人に愛される美術館にして、再び来館者を増やすことに尽きると考えています。大学時代は物理や化学の実験に明け暮れる日々でしたが、人と関わりたくて教員になりました。重責を感じつつも、来館する皆さんと交流できることが日々の原動力であり楽しみです。

人生分らないから面白い

をそんな癒しの場とするために、7月から新しい試みを始めました。館内にある安曇野の地下水「杜江の水」を使ったドリップコピー（1杯350円・セルフ）の提供です。

理科の教員だった私が、国語や歴史の領域である市文書館長を経て今では美術館に勤めています。人生は何かがあるか分かりませんね。だからこそ面白い。これからも、教員時代からの信条「目の前のことに精いっぱい取り組む」という思いを大切にしていきます。多くの人々の熱意と寄付で生まれた当館を、ぜひもう一度皆さんの手で温めてください。おいしいコピーをご用意してお待ちしています。



1957年飯田市出身。名古屋大学農学部を卒業後、教員に。30代の頃に田園風景が気に入り穂高へ移住。今号で最終回を迎えた本紙コラムの小説『安曇野』を読もう！の筆者でもある。

平沢館長による碌山美術館の案内動画をYouTubeの市公式チャンネルで公開しています（※音声が出ます）▶



Information

観覧チケット

- 観覧席 3,500円/人(グループチケット12,000円/4人)
- イス席(150席) 5,000円/人
- テーブル席(6人1席・50セット) 25,000円
- Ⓜ8月14日(金)までに楽天チケット、セブン-イレブン・ファミリーマート各チケットサービスから(売り切れ次第終了)
- Ⓜ出店がある花火会場に入るにはチケットが必要です。中止の場合、チケット代金は払い戻します。

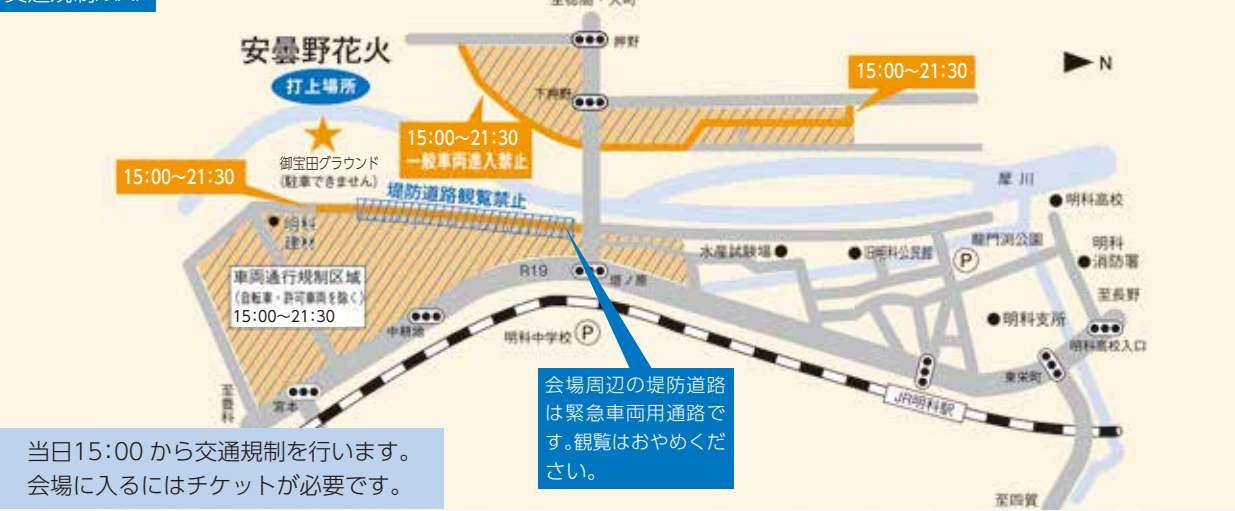
臨時駐車場 前売り券販売

- 明科中学校グラウンド 360台
- 龍門測グラウンド 200台
- Ⓜ5,000円(当日は6,000円、二輪等2,000円)
- Ⓜ8月9日(日)までに楽天チケット、セブン-イレブン・ファミリーマート各チケットサービスから(売り切れ次第終了)
- Ⓜ代金の払い戻し、当日の利用など詳細はHPをご確認ください。

シャトルバスの運行

- 青木花見産業団地駐車場 出発
始発15:40 最終18:35 随時運行
- セイコーエプソン豊科事業所駐車場 出発
始発15:20 最終18:45 随時運行
- Ⓜシャトルバス利用等協力金1,000円(帰路無料)
- Ⓜ終了後、JR篠ノ井線は増便して運行します。
- ▷例年青木花見産業団地駐車場が空いています。

交通規制MAP



当日15:00から交通規制を行います。
会場に入るにはチケットが必要です。

通行に支障があるときや開場(15:30)前に場所取りで敷かれたシートなどは撤去します。
市内各所から花火は見えますが、路上駐車はおやめください。
問安曇野花火実行委員会事務局(観光課) TEL71-2053



第19回 安曇野花火 安曇野から未来へ

日時 8月14日(金) 午後7時15分 打上開始
場所 御宝田遊水池(明科犀川河川敷内)